とどろヶ淵のメッケ

富安陽子作　広瀬弦絵　佼成出版社

竜尾川のとどろヶ淵に住むメッケは、千里眼を持つ河童です。竜神沼で大相撲大会が開かれる晩のこと。一番チビすけだからと連れていってもらえず、留守番をしていたメッケは、滝の水が止まったことに気づきます。藤淵のソッカ、鐘ヶ淵のヨイショやコラショといっしょに、上流へとむかったメッケは、原因は竜神沼の底がぬけたせいだと知りました。枯れた川をもとにもどし、地の底にすいこまれた仲間たちを助けるために、メッケはいけにえとなる決心をしましたが…？